

## とどけ！被災地へ！東久留米から

め組JAPANというNPO法人が「5月3日に世界中で希望の種を蒔こう！（SEEDS of HOPE）」と呼びかけたことに共鳴して、東久留米の農家とその仲間が立ち上がりました。

プランターに「ヒマワリのタネ」を蒔き、花が咲いたら被災地に届けようという企画です。

4月1日に篠宮仁さん（写真前列中央）や秋田茂良さんら市内の農家が、救援物資を募って、宮城県石巻市の被災農家に届けたのが第一弾でした。この時もたくさんの協力申し出があり、トラック2台分が集まりました。

今回は、発起人の望月里子さんの声かけにより、市内の農家、JC、JA東京みらい、市役所、国立ファーム、そして市民が、組織の垣根を越えて、個人的な繋がりの中で協力しあって行った画期的なイベントとなりました。

当日は、南沢の篠宮さんの畑に市民をはじめ、遠くは福島県南相馬市の農家や、都内の葛飾や八王子などから、合計約130名もの参加者が集まって、大盛況の会になりました。

その模様を（さわりだけですが）レポートします。

（第3期もがんばります！市民記者 きんた）



参加者は60cmのプランターにひまわりのタネを5粒まきます。土は農家の方に提供していただきました。



参加した娘も、楽しそうに土をプランターに入れています。



こんなかんじになりました。ちなみにひまわりの種類は「パチーノ・ゴールド」40センチの草丈とやや低めですが移動も考えてこの品種にしたとことです。



タネの蒔き方、土のかぶせ方など、主催者の方々に丁寧に教えてもらいました。



プランターは全部で128個集まったそうです。

7月10日ごろに南相馬市や、石巻市の方に持って行くこととしています。



プランターと一緒に記念撮影をし、プリントアウトした用紙に被災地への思いを入れて、メッセージを書き込みます。



また、大きな布に思い思いにメッセージをみんなで書きました。



娘も一生懸命に書きました。



そのあと、みんなですいとんをたべました。農家でとれた野菜が入っていて、とてもおいしかった！当日は若い家族参加者も多く、子供もたくさんいましたね。



すいとんづくりはJC（青年会議所）の皆様がボランティア参加していただきました。



ちなみにこの大鍋は、JA東京みらいさんからの提供で～す。



すいとんはこんな感じ。娘はおかわりしちやいました。



当日は、たくさんの方が参加し、またボランティアしていただきました。篠宮さんと提携している「国立ファーム」の皆さんもたくさん参加されていました。



もちろん畑を提供いただいた篠宮さんや、中心的に活躍いただいた秋田さんなど農家の皆様にも大感謝です。

何人かの方が「また企画してくださいね、必ず来ますから」と声をかけていたのが印象的でした。



最後に、今回の企画の発起人の望月里子さんです（写真左）。ありがとうございました。

なかなか農家にお邪魔する機会のない私たち市民にとって、農家と触れ合えるよい機会にもなりました。

また、やりましようね～頑張りうNIPPON！

（写真の撮影について、主催者の了承をいただいております）